



**情報不足 (DD)**



## ミヤマハナワラビ

ハナヤスリ科

*Botrychium lanceolatum* (S.G.Gmel.) Angstr.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧 I A類

■**選定理由** 高山帯にあって生育適地が狭い。(現況： )

■**分 布** 白山高地区

■**危険要因** 自然遷移、産地局限

(米山競一)

## ホウライシダ

イノモトソウ科

*Adiantum capillus-veneris* L.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 希産種である。近年側溝の改修によって消滅したが、新産地の情報なし。(現況： )

■**分 布** 加賀中央区

■**危険要因** 道路工事、その他(石垣の改修など)

(米山競一)

## ヒロハナライシダ

オシダ科

*Arachniodes sinomiqueliana* (Ching) Ohwi

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧 I B類

■**選定理由** 低地の林内、林縁にあって生育適地が狭い。(現況： )

■**分 布** 南加賀区

■**危険要因** 自然遷移、産地局限

(米山競一)

## ミヤマクマワラビ

オシダ科

*Dryopteris polylepis* (Franch. et Sav.) C.Chr.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 亜高山帯林内、林縁にあって生育適地が狭い。(現況： )

■**分 布** 白山高地区

■**危険要因** 自然遷移、産地局限

(米山競一)

# カタイノデ

オシダ科

*Polystichum makinoi* (Tagawa) Tagawa

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 分布地がごく稀で個体数が少ない。(現況： )

■**分 布** 内浦区

■**危険要因** 森林伐採、動物食害、産地局限

(米山競一)

# カラムツ

マツ科

*Larix kaempferi* (Lamb.) Carriere

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 文献にあるが、自生地が特定できない。(現況： )

■**分 布** 白山高地区

■**危険要因** 自然災害

■**特記事項** 自生地は旧別山道とあり、白山国立公園特別保護地区内にある。

(米山競一)

# イヌマキ

イヌマキ科

*Podocarpus macrophyllus* (Thunb.) Sweet f. *spontaneus* H.Ohba et S.Akiyama

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 産地が局限され、逸出の実生との区別が困難。検討が必要である。(現況： )

■**分 布** 加賀中央区、南加賀区

■**危険要因** 森林伐採、その他(美化作業、景観整備)

(米山競一)

# ヒメコウホネ

スイレン科

*Nuphar subintegerrimum* (Casp.) Makino

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

■**選定理由** 県内では確認情報が得られていない。

■**形 態** 抽水葉はコウホネより小型で円みを帯び、長さとの比は1.2~1.7程度。沈水葉は抽水葉と同形でコウホネのように細長くならない。花は径2.5~4cmでコウホネより小型。

■**分 布** 東海地方

■**危険要因** 池沼開発、河川開発、園芸採取。

■**特記事項** 環境省レッドリスト掲載の「ヒメコウホネ」は、関西型ヒメコウホネと仮称されてきたサイコクヒメコウホネを含んだ植物群の総称と考えられる。本県に狭義のヒメコウホネが分布するのかが調査が必要である。文献：角野康郎、1994. 日本水草図鑑。文一総合出版、角野康郎、2014. 日本の水草。文一総合出版、志賀隆、2015. スイレン科。In: 改訂新版日本の野生植物、I, 46-48. 平凡社。

(中野真理子)

## ミチノクサイシン

ウマノスズクサ科

*Asarum fauriei* Franch.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

- **選定理由** 確認情報が少なく、分類学的検討が必要である。(現況： )
- **形態** 葉身は小型で広卵形または腎円形。萼筒は小さい鐘形で、萼口は狭くなる。花柱は6個で直立し、先は細長く角状に伸びてしばしば萼口より突出する。
- **分布** 本州(東北地方、新潟県北部)
- **危険要因** 不明
- **特記事項** 花柱の細長く伸びた角状突起物(長さ2.5mm以上)が本種の特徴である。文献：菅原敬・東馬哲雄. 2015. ウマノスズクサ科. In 大橋広好ほか(編). 改訂新版日本の野生植物, 1, 57-70. 平凡社. (中野真理子)

## ミヤマアオイ

ウマノスズクサ科

*Asarum fauriei* Franch. var. *nakaianum* (F.Maek.) Ohwi ex T.Sugaw.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

- **選定理由** 確認情報が少なく、分類学的検討が必要である。(現況： )
- **分布** 本州(中部地方)
- **危険要因** 不明
- **特記事項** 2倍体と3倍体があり、葉質や花の形はきわめて多型で、地域によって微妙に異なる。文献：菅原敬・東馬哲雄(2015)ウマノスズクサ科. In 大橋広好ほか(編). 改訂新版日本の野生植物, 1, 57-70. 平凡社. (中野真理子)

## ホクリクアオウキクサ

サトイモ科

*Lemna aoukikusa* Beppu et Murata subsp. *hokurikuensis* Beppu et Murata

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 本亜種がアオウキクサから区別できるかどうかについて、今のところ確信ある多数意見が存在していないため。(現況： )
  - **分布** 不明
  - **危険要因** 不明
- (古池 博)

## ハナゼキショウ

チシマゼキショウ科

*Tofieldia nuda* Maxim.var. *nuda*

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 石川県では産地がきわめて限定されている。(現況： )
  - **分布** 本州(関東以西)、九州、県内の自生については確実な証拠がない。
  - **危険要因** 園芸採取、自然遷移、その他(崖崩れなどの地表変動)
  - **特記事項** いしかわレッドデータブック〈植物編〉改訂版(2010)では、本種は絶滅危惧Ⅰ類として記載されている。しかし、今回の調査により、標本、現地調査とも確実な証拠が得られなかったため、カテゴリーを変更した。引き続き、検討・精査をする必要がある。
- (古池 博)

# トリゲモ

トチカガミ科

*Najas minor* All.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

■**選定理由** 従来も比較的稀な植物であったが、近年、減少して不明。（現況： ）

■**分 布** 近年は中能登区、加賀中央区、南加賀区に分布。

■**危険要因** 池沼開発、河川開発（河川改修）

（古池 博）

# カワツルモ

カワツルモ科

*Ruppia maritima* L.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 準絶滅危惧

■**選定理由** 従来もきわめて稀な植物であるが、現在見当たらない。（現況： ）

■**分 布** 角野康郎（1994）の分布図によると、能登半島内浦に分布していることになっているが、その後、確認されていない。

■**危険要因** 不明

■**特記事項** 角野康郎.1994. 日本水草図鑑. 179.

（古池 博）

# ヤマユリ

ユリ科

*Lilium auratum* Lindl.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 本県では産地がきわめて限られ、小さな個体群であるとともに、減少傾向にある。（現況： ）

■**分 布** 東北から近畿にかけては普通であるが、北海道、北陸・中国地方、四国、九州、琉球には自然分布せず、もし、あれば栽培品の野生化であるとする説がある。事実としては、北陸、四国、九州からも報告がある。日本特産の植物である。県内では、中能登区（石動山）のみに産し、自然分布か、栽培品の野生化かについて議論がある。

■**危険要因** 産地局限、園芸採取、管理放棄

（古池 博）

# ヤマホトトギス

ユリ科

*Tricyrtis macropoda* Miq.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 1980年代まで内浦区、南加賀区、白山高地区に自生の記録があるが、近年、報告がない。（現況： ）

■**分 布** 現状では不明。

■**危険要因** 自然遷移

（古池 博）

## マヤラン

ラン科

*Cymbidium macrorhizon* Lindl.

石川県カテゴリ 情報不足

環境省カテゴリ 絶滅危惧Ⅱ類

■**選定理由** 極めて稀産の植物で、1989年版レッドデータブックに記載があるがその後確認されていない。  
(現況： )

■**分 布** 不明

■**危険要因** 園芸採取、自然遷移

■**特記事項** すでに絶滅している可能性が大きい、カテゴリ「野生絶滅」に該当することを判断するに足る年数が経過していない。

(古池 博)

## ダイサギソウ

ラン科

*Habenaria dentata* (Sw.) Schltr.

石川県カテゴリ 情報不足

環境省カテゴリ 該当なし

■**選定理由** 従来の記録があるので、現状では確認できないが一応記載しておく。(現況： )

■**分 布** 不明

■**危険要因** 不明

(古池 博)

## ヨウラクラン

ラン科

*Oberonia japonica* (Maxim.) Makino

石川県カテゴリ 情報不足

環境省カテゴリ 該当なし

■**選定理由** 石川県ではきわめて稀産の植物である。近年の調査では現地報告がない。現存していれば、日本海側の北限である。(現況： )

■**分 布** 分布記録は、内浦区～中能登区。

■**危険要因** 不明

(古池 博)

## タカネサギソウ

ラン科

*Platanthera mandarinorum* Rchb.f. subsp. *maximowicziana* (Schltr.) K.Inoue

石川県カテゴリ 情報不足

環境省カテゴリ 該当なし

■**選定理由** 本種の県内での自生については蓋然性があるが、現在のところ、自生の確実な証拠が十分でない。(現況： )

■**分 布** 不明

■**危険要因** 不明

(古池 博)

## ミヤマチドリ

ラン科

*Platanthera takedae* Makino subsp. *takedae*

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 県内（白山）では、現在のところ、典型的なものが見つからない。（現況： ）

■**分 布** 国内では本州中部。

■**危険要因** 不明

■**特記事項** 従来、白山でミヤマチドリと呼ばれていたのは、*Platanthera takedae* Makino（広義）の種名である。  
(古池 博)

## アマドコロ

キジカクシ科

*Polygonatum odoratum* (Mill.) Druce var. *pluriflorum* (Miq.) Ohwi

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 本種は従来、本県では少数だが普通に自生すると見られていたが、今回、見当たらないことが判明した。  
今後、精査を要する。（現況： ）

■**分 布** 不明

■**危険要因** 不明

(古池 博)

## オカズメノヒエ

イグサ科

*Luzula pallidula* Kirschner

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 本種が県内に産することは記録があるが、その他の事項については現状では不明。（現況： ）

■**分 布** 国内では、北海道、本州、四国、九州、千島。さらにサハリン、カムチャツカ、シベリア、ヨーロッパ、北アメリカにいたる。

■**危険要因**

(古池 博)

## チャシバスゲ

カヤツリグサ科

*Carex caryophyllea* Latour. subsp. *microtricha* (Franch.) T. Koyama

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 少数の古い標本記録があるのみ。（現況： ）

■**分 布** 口能登区（かほく市七塚町）、加賀中央区（金沢市戸室山、白山市瀬波）

■**危険要因** 草地開発（海岸草原の開発）、管理放棄（放牧地）

(白井伸和)



# イソアオスゲ

カヤツリグサ科

*Carex meridiana* (Akiyama) Akiyama

石川県カテゴリ 情報不足

環境省カテゴリ 該当なし

■**選定理由** 県内では近年確認されたもので、県内の分布状況については詳細不明。(現況: )

■**分布** 中能登区(能登島)、海岸の岩場に生育する。

■**危険要因** 海岸開発、その他(海面上昇に伴う波浪浸食)

■**特記事項** 文献: 勝山輝男. 1993. 日本産アオスゲ類の再検討. 神奈川県立博物館研究報告(22): 53-67.

(白井伸和)

# ハマスゲ

カヤツリグサ科

*Cyperus rotundus* L.

石川県カテゴリ 情報不足

環境省カテゴリ 該当なし

■**選定理由** 県内では古くより、海浜地にまれに見られる種である。近年、市街地の周辺の路傍などで、同種が散見されるようになり、新たに入ってきた外来の系統である可能性がある。今回、絶滅危惧種とすべきものかどうかの判断に十分な情報は得られなかった。(現況: )

■**分布** 外浦区、内浦区、中能登区、加賀中央区、南加賀区

■**危険要因** 海岸開発など。

■**特記事項** 世界的に熱帯~亜熱帯を中心に温帯まで広がっている代表的な農耕地の雑草のひとつで、日本には古い時代に入ったともされる。文献: 竹松哲夫・一前宣正. 1997. 世界の雑草Ⅲ. 全国農村教育協会. 東京.

(白井伸和)

# エゾヌカボ

イネ科

*Agrostis scabra* Willd.

石川県カテゴリ 情報不足

環境省カテゴリ 該当なし

■**選定理由** 県内では白山山系にわずかに確認されていたのみであるが、近年各地に散見されるようになった。(現況: )

■**分布** 北海道、本州(中部以北)。県内では従来、白山山系(白山市岩間、蛇谷上流)で確認されている。

■**危険要因** 自然遷移、産地局限

■**特記事項** 種としては北半球に広く分布しているもので、近年になって見られるようになったものは、生育状況から外来の系統である可能性が高い。県内の従来の確認箇所も、砂防工事用道路および白山白川郷ホワイトロード(白山スーパー林道)沿いにあり、本来の自生ではない可能性もある。

(白井伸和)

# キタメヒシバ

イネ科

*Digitaria ischaemum* (Schreb.) Schreb. ex Muhl.

石川県カテゴリ 情報不足

環境省カテゴリ 絶滅危惧 I B類

■**選定理由** 生育地が限られ個体数も少ないと思われるが、確認情報が少なく現状不明である。(現況: )

■**分布** 加賀中央区、南加賀区

■**危険要因** 海岸開発、産地局限

■**特記事項** 小穂の長さが2.4~2.6mmとアキメヒシバよりかなり大きいものが加賀地方の海岸の砂浜で採集されている。長田(1989)の線画に描かれている鳥取県浜坂砂丘産のキタメヒシバが、生育環境からすると本県産のものとの関連性があるのではないかと推測されるが、詳細な検討が必要である。文献: 長田武正. 1989. 日本イネ科植物図譜. 平凡社. 東京.

(白井伸和)

# オオタチカモジ

イネ科

*Elymus* × *mayebaranus* (Honda) S.L.Chen

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 確認情報が少なく、実際に生育地も少ないと考えられる。(現況: )
- **分 布** 加賀中央区、南加賀区の休耕田などの水湿地から見出されているが、情報が少なく詳細な分布は不明。
- **危険要因** 湿地開発、自然遷移。カモジグサとの交雑の進行。
- **特記事項** ミズタカモジとカモジグサの中間的な形態をもち、山間部の水田わきや溪畔などの湿った草地に生える。カモジグサとの区別が難しい個体もある。なお、ミズタカモジは県内では見つかっていない。文献：大井次三郎、阪本寧男、1964、ミズタカモジの分類と生態、植物分類地理、34 (9) :13-18。

(白井伸和)

# チイサンウシノケグサ

イネ科

*Festuca ovina* L. var. *chiisanensis* Ohwi

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

- **選定理由** 生育地がごくわずか、個体数も少ない。(現況: )
- **形 態** 葉身は柔らかくV字に折れ、向軸側に溝ができる(乾くと縁が巻き込んで断面は多角形になる)。護穎の先端の芒は1.5~2mm、約は1mm前後。
- **国内分布** 本州(長野県上松、白山)、四国(剣山)
- **県内分布** 白山高地区。三ノ峰(福井県境付近)にごくわずかに分布するのみ。
- **生態など** 多年草
- **生育環境** 亜高山帯の風衝地の岩隙に生育。
- **危険要因** 産地局限
- **特記事項** 旧版のいしかわレッドデータブック〈植物編〉(2000)ではタカネウシノケグサの一型として扱ったが、福井県(三ノ峰)のチイサンウシノケグサの記録が、その命名者である大井次三郎氏の標本同定によるものであることから、これと同一の個体群と考え、今回は名称を改めた。タイプ産地は韓国の智異山で、原記載では稈の上部に軟毛があることになっているが、白山の個体群ではほとんど平滑で無毛であるなど、検討の余地が残されている。なお、本来のタカネウシノケグサ var. *tateyamensis*は、中部山岳の高山帯の風衝砂礫地にあり、これと同じものは白山にはみられない。文献：大井次三郎、1941、日本の禾本科植物 第一、植物分類地理10:95-135、大井次三郎、1953、日本植物誌、大井次三郎(北川政夫改訂)、1983、新日本植物誌頭花編、渡辺定路、2003、改訂増補福井県植物誌、福井新聞社、福井市

(白井伸和)

# カラフトジョウツナギ

イネ科

*Glyceria lithuanica* (Gorski) Lindm.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 確認情報がほとんどなく、分布の現状が不明である。(現況: )
- **分 布** 白山高地区
- **危険要因** 産地局限
- **特記事項** 三ノ峰で採集されている。文献：寒蟬義一・渡辺定路、1966、福井県の植物分布、福井県教育研究会理科部会、橋本光政・里見信生、1973、白山の植物目録(三)、金沢大学理学部附属植物園年報 4:15-28、渡辺定路、2003、改訂増補 福井県植物誌、福井新聞社、福井市。

(白井伸和)

# アワガエリ

イネ科

*Phleum paniculatum* Huds.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 1957年に採集された標本がある。(現況: )
- **分 布** 口能登区(宝達山)
- **危険要因** 産地局限

(白井伸和)

# ハネガヤ

イネ科

*Stipa pekinensis* Hance

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■選定理由 1952年に採集された標本がある。(現況： )

■分布 口能登区(石動山)

■危険要因 産地局限

(白井伸和)

# サンリンソウ

キンポウゲ科

*Anemone stolonifera* Maxim.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■選定理由 希少種で白山三ノ峰のみに調査記録があるが、他の山地についての調査が行われていない。(現況： )

■分布 南加賀植物小区系の白山高地区に分布し、隣県の福井県、富山県にも分布する。北陸地方以外では北海道、本州の中部地方以北に分布する。

■危険要因 自然遷移による絶滅が考えられる。

(高木政喜)

# シラネアオイ

キンポウゲ科

*Glaucidium palmatum* Siebod et Zucc.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■選定理由 代表的な日本海要素の植物であるが、本県ではその個体数がごく少なく、十分調査が行われていない。(現況： )

■分布 白山高地区。近隣の富山県に分布する。全国的には北海道(日高以西)及び本州中部地方以北に生育する。

■危険要因 園芸採取、自然遷移など。

(高木政喜)

# チダケサシ

ユキノシタ科

*Astilbe microphylla* Knoll

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■選定理由 確認情報が少なく、実際に生育地も少ないと考えられる。(現況： )

■分布 中能登区、外浦区

■危険要因 不明

■特記事項 小牧(1987)は、本種を本来の自生でないとしている。

■参考文献 奥山雄大. 2016. ユキノシタ科. In 改訂新版日本の野生植物, 2, 197-214. 平凡社.  
小牧旌(1987)加賀能登の植物図譜. 加賀能登の植物図譜刊行会.

(中野真理子)

## タチネコノメソウ

ユキノシタ科

*Chrysosplenium tosaense* (Makino) Makino ex Suto

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 確認情報が少ない。(現況： )

■**分 布** 南加賀区

■**危険要因** 河川開発、自然遷移、産地局限

■**特記事項** くずれやすい岩上に生育。

(中野真理子)

## チツパベンケイ

ベンケイソウ科

*Hylotelephium sordidum* (Maxim.) H. Ohba

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 確認情報が少ない。(現況： )

■**分 布** 南加賀区

■**危険要因** 道路工事、自然遷移、産地局限

■**特記事項** トチノキ、ブナに着生。

(中野真理子)

## モメンヅル

マメ科

*Astragalus reflexistipulus* Miq.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 1997年版石川県植生誌の石川県植物目録に記載があるが、標本の確認ができず、近年の情報がない。  
(現況： )

■**分 布** 現状不明。隣接県では、富山県は絶滅危惧Ⅱ類に指定している。福井県には分布しない。

■**危険要因** 不明

(小野ふみ系)

## クサフジ

マメ科

*Vicia cracca* L.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 古い標本と文献情報はあがるが、近年の情報がなく現状不明である。(現況： )

■**分 布** 口能登区、南加賀区。隣接県では、福井県に分布する。

■**危険要因** 不明

■**特記事項** しばしば帰化種のナヨクサフジと見誤られるので注意が必要である。

(小野ふみ系)

## ミツモトソウ

バラ科

*Potentilla cryptotaeniae* Maxim.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 文献情報および目撃情報はあがるが、標本の確認ができず、県内分布の実態は不明である。(現況： )
- **分 布** 南加賀区とされているが、現状は不明。隣接県では、富山県は情報不足となっている。福井県に分布する。
- **危険要因** 不明

(小野ふみ彥)

## カジノキ

クワ科

*Broussonetia papyrifera* (L.) LHer. ex Vent.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 古くから紙の原料として栽培されていた種で県内での現存個体数はきわめて少ない。(現況： )
- **分 布** 加賀中央区、口能登区、中能登区、内浦区などのヤブツバキクラス域上限域の400mを越え、600m以下の丘陵地、山地に分布する。
- **危険要因** 森林伐採、土地造成、道路工事

(高木政喜)

## ミヤマミズ

イラクサ科

*Pilea angulata* (Blume) Blume subsp. *petiolaris* (Siebold et Zucc.) C.J.Chen

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 能登半島に分布するが、個体数は少なく、県内全域における分布が明らかになっていない。(現況： )
- **分 布** 外浦地区、中能登区に分布している。富山県に分布していない。
- **危険要因** 自然遷移、道路工事等が考えられる。
- **特記事項** 石川県植生誌(1997)に掲載されている。

(高木政喜)

## ヒョウノセンカタバミ

カタバミ科

*Oxalis acetosella* L. var. *longicapsula* Terao

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 同定の困難さもあって確認情報がほとんど無く、分布の現状が不明である。(現況： )
- **分 布** 現状不明。隣接県では、福井県に分布する。
- **危険要因** 不明
- **特記事項** 1980~1990年代にかけて、エゾミヤマカタバミとして報告された標本が数枚あがるが、蒴果の形と大きさを見ないとヒョウノセンカタバミとの判別ができず、今後の情報収集が必要である。

(小野ふみ彥)

## キツネヤナギ

ヤナギ科

*Salix vulpina* Andersson subsp. *vulpina*

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 加賀の山地と文献に掲載されているが、現在の生育状況や分布が不明であるので調査が必要である。  
(現況： )

■**分 布** 南加賀区の山地、隣県の富山県に分布するが、福井県に見られない。

■**特記事項** 石川県植生誌（1997）や加賀能登の植物図譜（1987）に掲載されている。

(高木政喜)

## アゼオトギリ

オトギリソウ科

*Hypericum oliganthum* Franch. et Sav.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧 I B類

■**選定理由** 確認情報が少ない。(現況： )

■**分 布** 中能登区、口能登区、加賀中央区、南加賀区

■**危険要因** 道路工事

(中野真理子)

## タチフウロ

フウロソウ科

*Geranium krameri* Franch. et Sav.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** いしかわレッドデータブック<植物編>2010には準絶滅危惧として記載されているが、文献情報のみで標本の確認ができず、県内分布の実態は不明である。(現況： )

■**分 布** 現状不明。隣接県では、福井県には分布しない。

■**危険要因** 不明

(小野ふみ系)

## ヒメキカシグサ

ミソハギ科

*Rotala elatinomorpha* Makino

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 県内における生育地が限られている。(現況： )

■**分 布** 南加賀区

■**危険要因** 自然遷移

■**特記事項** 石川県植物誌（1997）に記録があるが現在、分布が確認されておらず情報不足とした。

(濱野一郎)

## オニビシ

ミソハギ科

*Trapa natans* L.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 生育地の環境が人為による影響を受けやすい。(現況: )
- **分 布** 南加賀区
- **危険要因** 池沼開発、水質汚濁、管理放棄、自然遷移
- **特記事項** 石川県植物誌(1997)に記録があるが現在確認されていない。

(濱野一郎)

## ナンゴクミネカエデ

ムクロジ科

*Acer australe* (Momot.) Ohwi ex Momot.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 同定の困難さもあって、県内の分布実態は不明である。(現況: )
- **分 布** 現状不明。隣接県では、福井県に分布する。
- **危険要因** 不明
- **特記事項** 三ノ峰付近にそれと疑わしきものが見られるとの情報がある。

(小野ふみ系)

## ヒナウチワカエデ

ムクロジ科

*Acer tenuifolium* (Koidz.) Koidz.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 文献情報や標本はあるが、イロハカエデ節の他種と誤認されている恐れもあり、県内分布の実態は不明である。(現況: )
- **分 布** 現状不明。隣接県では、富山県、福井県に分布する。
- **危険要因** 不明
- **特記事項** 標本の同定について再検討が必要である。

(小野ふみ系)

## ミズタガラシ

アブラナ科

*Cardamine lyrata* Bunge

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 北海道・本州・四国・九州に広く分布するが、石川県では現存個体数は少ないと考えられる。(現況: )
- **分 布** 南加賀区、口能登区、加賀中央区
- **危険要因** 海岸開発、土地造成、踏みつけ、自然遷移

(中野真理子)

## ナガバノウナギツカミ

タデ科

*Persicaria hastatosagittata* (Makino) Nakai

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 準絶滅危惧

- **選定理由** 生育地が限られ、その個体数もわずらか、不明である。(現況： )
- **分 布** 本州(関東以西)～南西諸島に分布するが、石川県では加賀中央区、南加賀区。
- **危険要因** 池沼開発、土地造成、自然遷移

(高木政喜)

## ネバリタデ

タデ科

*Persicaria viscofera* (Makino) H.Gross var. *viscofera*

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 石川県植物誌に記載されているが、現在の生育状況が不明であるので調査が必要である。
- **分 布** 県内では内浦地区、外浦地区に分布し、隣県の富山県、福井県にも生育する。
- **危険要因** 土地造成、道路工事などが考えられる。
- **特記事項** 石川県植物誌(1983)、石川県植生誌(1997)、加賀能登の植物図譜(1987)に掲載されている。

(高木政喜)

## コギシギシ

タデ科

*Rumex dentatus* L. subsp. *klotzschianus* (Meisn.) Rech.f.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

- **選定理由** 石川県では極めてまれに産する。現状では情報が少ない。(現況：RO)
- **分 布** 本州の関東以西から九州に分布するが、県内では南加賀区、中能登区のヤブツバキクラス域。
- **危険要因** 土地造成、道路工事

(高木政喜)

## ノミノツヅリ

ナデシコ科

*Arenaria serpyllifolia* L. var. *serpyllifolia*

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 陽の当たる路傍などの平地に生育していたが、近年、急速に見られなくなり、再調査が必要である。(現況： )
- **分 布** 県内全域に分布している。隣県の富山県、福井県にも分布する。
- **危険要因** 土地造成、道路工事などが考えられる。

(高木政喜)



## タカネツメクサ

ナデシコ科

*Minuartica arctica* (Steven ex Ser.) Graebn. var. *hondoensis* Ohwi

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 現在の生育状況や分布が全く不明で確認されていない。(現況： )
- **分 布** 隣県の富山県に分布するが、福井県には見られない。
- **危険要因** 自然遷移が考えられる。
- **特記事項** 石川県植生誌(1997)に掲載。

(高木政喜)

## コバノイチャクソウ

ツツジ科

*Pyrola alpina* Andres

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 現在、生育状況が知られていない。(現況： )
- **分 布** 不明
- **危険要因** 不明

(本多郁夫)

## コメツツジ

ツツジ科

*Rhododendron tschonoskii* Maxim. subsp. *tschonoskii* var. *tschonoskii*

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 本州では主に太平洋側に分布するが、ときに日本海側にも見られる。(現況： )
- **分 布** 白山高地区
- **危険要因** 不明
- **特記事項** 何点かの標本はあるが、オオコメツツジの貧弱なものである可能性があるので今後の研究を要する。

(本多郁夫)

## フナバラソウ

キョウチクトウ科

*Vincetoxicum atratum* (Bunge) C.Morren et Decne.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

- **選定理由** はっきりした自生地が確認されていない。(現況： )
- **分 布** 南加賀区
- **危険要因** 不明

(本多郁夫)

## デワノトネリコ

モクセイ科

*Fraxinus japonica* Blume ex K.Koch var. *stenocarpa* (Koidz.) Ohwi

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 石川県樹木分布図集（1994）に分布図はあるが、証拠とされる標本の果実の形状が、特徴である「鋭頭」とあわないので、今後の研究が必要である。（現況： ）

■**分 布** 不明

■**危険要因** 不明

（本多郁夫）

## ミヤマククルマバナ

シソ科

*Clinopodium macranthum* (Makino) H.Hara

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 石川県植物誌（1983）や石川県植生誌（1997）に記述はあるが、最近数十年、新しい標本は得られていない。（現況： ）

■**分 布** 不明

■**危険要因** 不明

（本多郁夫）

## ミズネコノオ

シソ科

*Pogostemon stellatus* (Lour.) Kuntze

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 準絶滅危惧

■**選定理由** 最近数十年、新しい標本は得られていない。（現況： ）

■**分 布** 外浦区

■**危険要因** 不明

■**特記事項** 1975年に門前町で採集されているが、その後情報がない。栽培品であったかもしれない。

（本多郁夫）

## ハイタムラソウ

シソ科

*Salvia omerocalyx* Hayata var. *prostrata* Satake

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 生育地が限られ、個体数も少ない。（現況： ）

■**分 布** 南加賀区

■**危険要因** 河川開発、土地造成、道路工事

■**特記事項** 同定上の判断が一致していない。石川県植物誌（1983）に記録はあるが、同定が確定していない。

（本多郁夫）

## タチコゴメグサ

ハマウツボ科

*Euphrasia maximowiczii* Wettst.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 加賀能登の植物図譜に記述はあるが、長年、確実な標本が得られていない。(現況： )

■**分 布** 不明

■**危険要因** 不明

(本多郁夫)

## ホンバムカシヨモギ

キク科

*Erigeron acer* L. var. *liniarifolius* (Koidz.) Kitam.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 確実な生育状況が得られていない。(現況： )

■**分 布** 不明

■**危険要因** 不明

(本多郁夫)

## サケバヒヨドリ

キク科

*Eupatorium laciniatum* Kitam.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 本種とされる若干の標本はあるが葉の裏面に多くの腺点が見られることから、ヒヨドリバナの誤同定と考えられる。(現況： )

■**分 布** 不明

■**危険要因** 不明

(本多郁夫)

## タカネニガナ

キク科

*Ixeridium alpicola* (Takeda) J.H.Pak et Kawano

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

■**選定理由** 石川県植物誌(1983)に記述はあるが、同定が難しく確実な生育情報が得られていない。(現況： )

■**分 布** 白山高地区

■**危険要因** 不明

(本多郁夫)

## メタカラコウ

キク科

*Ligularia stenocephala* (Maxim.) Matsum. et Koidz.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- 選定理由** 同定が難しく確実な生育情報がない。(現況： )
- 分 布** 白山高地区
- 生態など** 多年草、花期は6～9月。
- 危険要因** 自然遷移、産地局限、その他(交雑)
- 特記事項** 純粋なメタカラコウは県内に産しないとの考えもある。

(本多郁夫)

## ハクサンカニコウモリ

キク科

*Parasenecio × cuneatus* (Honda) H.Koyama

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- 選定理由** 確実な生育情報が得られていない。(現況： )
- 分 布** 不明
- 危険要因** 不明
- 特記事項** 白山国立公園ガイドブック(環境省) [www.env.go.jp/park/hakusan/data/data/20130402ac.pdf](http://www.env.go.jp/park/hakusan/data/data/20130402ac.pdf) (閲覧日: 2020年2月17日)において「オオカニコウモリとオオバコウモリとの雑種(間種)とされる」との記述はあるが実態が良く分からない。

(本多郁夫)

## アキノハハコグサ

キク科

*Pseudognaphalium hypoleucum* (DC.) Hilliard et B.L.Burt

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧 I B類

- 選定理由** 1974年の加賀中央区での記録があるが、その後、確認情報がない。(現況： )
- 分 布** 加賀中央区
- 危険要因** 不明

(本多郁夫)

## ミシマサイコ

セリ科

*Bupleurum stenophyllum* (Nakai) Kitag.

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 絶滅危惧 II類

- 選定理由** 県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況： )
- 分 布** 1971年に七尾市徳田で採集された後、情報が得られていない。
- 危険要因** 産地局限
- 特記事項** 標本は栽培品のみ。

(濱野一郎)

# ヤマゼリ

セリ科

*Ostercicum sieboldii* (Miq.) Nakai

石川県カテゴリー 情報不足

環境省カテゴリー 該当なし

- **選定理由** 県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況： )
- **分 布** 石川植物誌(1983)に山地少ないと記録あり。
- **危険要因** 不明
- **特記事項** 県内の標本もなく、県内での分布の有無が判断できない。

(濱野一郎)

